

第34回日本がん転移学会学術集会・総会

《会場：淡路夢舞台》

《会長：山本浩文 大阪大学保健学科分子病理学》

テーマ がんプロフェSSIONALによる転移の Cure と Care

2025年 6月 19日 (木)

特別講演 I

石岡千加史 東北大学名誉教授

「ゲノムとトランスクリプトームを繋ぐエピゲノム診断
—ゲノムワイドな DNA メチル化診断による進行再発
大腸がんの治療選択と予後予測—」

教育講演

矢野聖二 金沢大学教授

「ここまで進んだ肺がん転移の制御」

がんプロ共催

シンポジウム2

「がん根治を目指した放射線治療」

2025年 6月 20日 (金)

特別講演 II

Prof. Masashi Narita, Univ. of Cambridge

「がん化における細胞老化の役割」

臨床演題

「転移を制御する臨床試験 / 共有すべき治療成功例」

がんプロ共催

シンポジウム3

「がんとの共生」

共催セミナー

赤尾幸博 岐阜大学名誉教授, eNA バイオテック (株)

「マイクロ RNA の発がんへの関与と創薬への展開」

谷口博昭 金沢大学教授

「異分野融合開発から治験に至った抗がん siRNA 開発の経験と今後の展望」

田中真二 東京科学大学教授

「がん多様性の分子機序と治療戦略」

他